

国際ロータリー第2790地区 2012.7.16
カウンセラー及び米山奨学生 研修会

<米山奨学生の心得>

地区米山記念奨学会委員会

心得

1. 所属ロータリークラブ(世話クラブ)の例会へ出席
 - ・最低でも月1回の出席し、この場で奨学金の供与を受ける
 - ・カウンセラーと良好な人間関係が築けるよう努力する
2. 世話クラブの年間イベントへの参加
 - ・積極的にロータリアンとの交流を図ることを通じて、異文化理解を深める
3. 地区米山記念奨学会委員会主催の各種プログラムへの参加(別紙資料参照)
4. 米山奨学生としての卓話(米山月間10月に限らない)
 - ・「卓話ガイダンス」参照
5. レポート等、公益財団法人米山記念奨学会から義務づけられている諸所作の実行
6. 離日する際などの諸規定の遵守
7. 奨学期間終了後の世話クラブ(カウンセラー)との交流
 - ・世話クラブとは、定期的に通信のやり取りをし、交流を継続する
 - ・連絡先の確認、自身の移転の報告
8. 学友会への参加
 - ・奨学期間はもとより、期間終了後も積極的に学友会へ参加
 - ・連絡先の確認、自身の移転の報告

参考

- ・ロータリー米山記念奨学事業の目的
ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持に貢献すること
- ・ロータリー米山記念奨学会の使命
将来、日本と世界を結ぶ「架け橋」となって、国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること
- ・奨学生の優秀性とは
 - <学業>
学問に対する研究の目的・目標を明確にし、研鑽を重ねてその成果を上げる努力をする
 - <異文化理解>
異なる文化・習慣などを理解する努力をする
 - <コミュニケーション能力>
言語のみならず人間関係における円滑なコミュニケーションを築き、事故の確立と共に他者を受け入れる柔軟な姿勢を持つ

◎第2790地区独自の選考の目安(2013 学年度)

1. 日本語で意思疎通のできる学生及び努力が認められる学生(協調性、コミュニケーション力を重視します)面接は、全て日本語のみで行います。
2. ロータリー活動に関心を持ち積極的に参加するとともに将来は母国と日本の親善を深めようとする使命感があること。
3. 複数の推薦者がいる場合は一カ国の国籍割合を30%以内とする。
4. できる限り最終学年を優先し、複数の推薦者がいる場合は学部生の割合を50%以内とする。